

[成果情報名] 新たに登録されるカンキツ「口之津32号」の果実特性

[要約] 「口之津32号」は露地栽培では 1月下旬以降が熟期で、食味良好な新しい系統である。果皮が滑らかで、はく皮しやすく、浮き皮は発生しないが、じょうのう膜がやや厚い。

[キーワード] 果皮、はく皮、浮き皮、じょうのう膜

[担当] 長崎果試・常緑果樹科

[連絡先] 0957-55-8740

[区分] 九州沖縄農業・果樹

[分類] 指導

[背景・ねらい]

独立行政法人農業技術研究機構果樹研究所で育成されたカンキツ新系統「口之津32号」の果実形質を調査し、本県への適応性を明らかにする。

新系統の来歴

系 統 名	交配組み合わせ
口之津32号	(清見・アンコールNO.5) × マコトNO.3

[成果の内容・特徴]

1. 果実重は 200 g 程度で、果形指数130～140の扁球形の果実である(表1)。
2. 果皮は橙色～赤橙色で滑らかで、特に施設栽培の果実は非常に滑らかで光沢がある。浮き皮果の発生は全く認められず、剥皮性もよい(表1)。はく皮時にはほのかなアンコール臭がある。
3. 果肉の硬さは軟らかいが、じょうのう膜がやや厚く、種子数はやや多い(表2)。
4. 露地栽培では、1月中旬で糖度12～14、酸含量は1.20g/100ml程度である。施設栽培では酸含量の減少が早い、糖度はやや低い(表2)。
5. そうか病、かいよう病にはやや弱い(系統適応性・特性検定試験成績)。

[成果の活用面・留意点]

1. 平成15年度に命名登録される予定である。
2. 着花はよく隔年結果性は少ないが、着果過多の場合、翌年の新しょうが弱く小葉化しやすいため、適性着果に心がける。
3. もともと雄性不稔であるため種子数は少ないが、他のカンキツと混植により種子数が増加する傾向がある。

[具体的データ]

年次別開花日 (月・日)

2000年 (露地:5.15、無加温:5. 3)

2001年 (露地:5.10、無加温:4.30)

2002年 (露地:5.20、無加温:4.20、省加温:3.18)

表1 「口之津32号」の果実及び果皮の特性

栽培法	年度	調査 月日	果形 指数	1 果 平均重 (g)	果		皮			
					果皮色	チロ 値 (赤道部)	粗 滑	はく 皮 の難易	厚さ (mm)	浮き皮
露地	2000	12.20	136	230	赤橙	10.3	滑	中易	1.9	無
	"	1.19	130	219	"	9.0	"	中易	2.1	"
	2001	12.19	135	164	赤橙	9.1	滑	易	2.0	無
	"	1.21	136	189	"	9.4	"	"	1.8	"
	"	2.21	148	144	"	9.6	"	"	2.0	"
無加温	2000	12.20	136	217	赤橙	9.2	滑	易	1.3	無
	"	1.19	140	203	"	9.7	"	"	1.8	"
	2001	12. 6	140	222	赤橙	9.1	滑	易	2.3	無
	"	12.19	134	240	"	10.3	"	"	2.2	"
	"	1.21	143	189	"	9.4	"	"	1.6	"
"	2.21	146	191	"	10.4	"	"	1.7	"	

表2 「口之津32号」の果肉の特性及び品質

栽培法	年度	調査 月日	果 肉		さじょう			果 汁			
			果肉 歩合 (%)	じょうのう 膜の厚さ	色	硬さ	種子数 ²	糖度	酸含量	糖酸比	
(g/100ml)											
露 地	2000	12.20	84.0	中	橙	軟	9.8	10.8	1.45	7.4	
	"	1.19	84.2	"	"	"	12.8	13.6	1.29	10.5	
	2001	12.19	85.8	中	橙	軟	13.0	12.7	1.27	10.0	
	"	1.19	85.4	"	"	"	25.6	12.8	1.07	12.0	
	"	2.21	83.8	"	"	"	6.2	13.0	0.99	13.1	
	2002	12.23	83.6					12.1	1.55	7.8	
	"	1.30	84.5					13.0	1.18	11.0	
	"	2.19	82.6					13.1	1.09	12.0	
	無加温	2000	12.20	89.7	中	橙	軟	20.6	11.7	0.79	14.7
		"	1.19	89.7	"	"	"	17.0	11.0	1.17	9.4
2001		12. 5	86.1	中	橙	軟	6.4	9.6	1.39	6.9	
"		12.19	85.3	"	"	"	10.0	10.2	0.99	10.3	
"		1.19	86.2	"	"	"	6.4	10.4	0.92	11.3	
"		2.21	86.8	"	"	"	6.2	11.3	0.85	13.3	
2002		12. 2	85.2					11.5	1.72	6.7	
"		12.23	86.1					13.1	1.42	9.2	
"		1.30	84.6					11.6	0.98	11.8	
省加温		2002	12. 2	86.7					11.5	1.11	10.4
	"	12.16	88.4					12.3	1.01	12.3	

² 完全種子数

[その他]

研究課題名：有望中晩生カンキツの栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：1999～2003年度

研究担当者：山下次郎

発表論文等：